

道東営業部より新年のご挨拶

道東営業部長 鎌田 国博

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より弊社事業につきまして、特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響は継続的でしたが、以前に比べると、感染防止を徹底した上での行事の開催や、旅行など行動制限が少し緩和された年であったと感じています。ただ終息まではまだ見通せない状況であり今後も感染対策する事が重要と考えます。

昨年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻や日米金利差の拡大で為替相場は急速に円安が進むなどにより、飼料、肥料、燃料などのあらゆる生産資材の価格高騰が続いております。長引くコロナの影響による生乳需給が継続的に低迷する中で、自助努力も限界があ

道央営業部より新年のご挨拶

道央営業部長 小野木 修

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社製・商品に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年1月に国内で初めて感染者が確認されてから、未だ猛威を振るう新型コロナウイルスは、世界経済、物流に大きな影を落としています。また、昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界のエネルギー、穀物相場にも影響をもたらしています。日本国内を見ると、円安の影響もあり海外からの輸入に依存しているエネルギー原料や穀物が高騰し、物価高に歯止めがかからない状況が続いています。私たちが関わる農業分野を取り巻く環境を見てみると、やはり肥料や資材、飼料の高騰が続いています。政府や自治体による補助もありますが、自助努力にも限界があり、生産コスト上昇は避けられない状況です。

そうしたなか、「いま何ができるか」また「何をす

り、国や自治体などの補助もありますが、生産コスト高騰は引き続き個々の経営を圧迫し大変厳しい状況になっているものと感じております。世界情勢の変化により日本の農業が大きく影響を受け、海外に依存せざるを得ない状況ですが、一刻も早く海外からの輸入飼料に頼らない国内飼料基盤に立った足腰の強い酪農、畜産経営に目指す事を改めて思う次第です。

弊社としても草地更新や肥培管理技術の対応をさせていただき良質な自給飼料の生産と、「土づくり、草づくり、牛づくり」による北海道産の乳畜産物の生産に寄与させていただければと思います。また、ご愛顧いただいております作物種子は海外での採種および生産が大半であり、世界情勢、天候状況によって不安要素もありますが、皆様に安心してご利用していただけるように生産・販売に努めてまいりたいと考えております。

本年も長年にわたって培ってきた技術やノウハウを活かして酪農・畜産の生産現場にしっかりと目を向けた数多くの商品と技術を取り揃え皆様のご用命にお応えしたいと考えます。

今後とも、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

べきか」を考えたとき、弊社創業の精神である『健土健民』という黒澤西蔵翁の言葉が頭をよぎります。「健やかな土地が健全な食料をもたらし、健全な食料が健全な人間を形成する。」すなわち「健やかな土地に健やかな民族がある。」「国土を健康にし農地を肥沃にする根本は、国民の心構えにある。健土は健民がつくる。」この言葉の意とするところは、持続可能な農業経営のためには足元をしっかりと固めることだと考えています。例えば、農薬や肥料は最小限にし、たい肥や緑肥を用いることで土に活力を貯える。雑草が多い牧草地は追播や更新、トウモロコシ等の高収量、高エネルギー作物と輪作をして自給飼料栄養価を高めるなど、将来に向けた取り組みを実践する時なのではないかと考えています。

昨今の世界情勢、異常気象の影響から、種子生産も思うようにはいなくなってきましたが、弊社としましては、全力をあげて皆様のご期待に応えられるよう日々努めてまいります。そして生産者の皆様と共に、この難局を乗り越え持続可能な農業の発展のお手伝いに取り組んでまいります。本年も農作業の無事と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。